ISSN 2187-7998

# 保育科学研究

第６巻（２０１５年度）

社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

# 発刊にあたって

日本保育協会保育科学研究所の平成27年度の研究成果をまとめた「保育科学研究第６巻」を発刊いたします。

平成24年度から総合テーマを掲げることとなり、本年度は、「子どもが保育士と過ごす時間、家庭で保護者と過ごす時間とその内容等を再点検しながら、保育所で今起きている問題、諸課題について研究をする」とし、テーマを「保育所保育と家庭保育との連携・協働」としました。

本年度はこの内容に沿った６件の研究を掲載しています。この研究要旨については、研究所が年３回発行している「研究所だより」第20号で紹介しております。また本年度は、招待論文としてお一人にご執筆いただきました。

次の平成28年度の研究については、総合テーマを今年度と同じ「保育所保育等と家庭保育との連携・協働」とし、５件の研究計画と、指定研究として２件が運営委員会において承認され、研究が開始されています。これらの研究要旨については「研究所だより」第23号で紹介する予定です。

平成26年度の研究成果については、平成27年９月に開催した第５回学術集会において代表者による発表が行われ、併せて講演、シンポジウム等が行われました。この内容についても「研究所だより」第21号に概要を掲載しました。

なお、これらの研究所の発行物は日本保育協会のホームページ内、「保育科学研究所」からご覧いただけます。

今後とも保育科学研究所は、日本の乳幼児保育の向上を願い、保育実践・研究の各分野でご活躍の皆様の参加を得て、保育を科学する研究の充実に努めて参りたいと思います。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年３月

日本保育協会保育科学研究所長

巷　野　悟　郎

# 目　次

発刊にあたって（巷野　悟郎）

研究論文

保育所と家庭との連携に関する研究（石川　昭義）…… 1

食を通した子育て支援の観点を活かした保育所保育に関する研究
　～父親が発信者となる家庭での食育を焦点に～（酒井　治子）……22

保育所が行う家庭との連携・協働プログラムの実証・研究
　～イベントサークル等の調査～（廣瀬　優子）……54

保育ドキュメンテーションを媒体とした保育所保育と
　家庭の子育てとの連携・協働に関する研究（矢野　理絵）……64

保育所で取り組み可能な家庭との連携のあり方に関する研究
　～保育所と家庭の食事に対する連携と協働～（木本　一成）……78

充実した保育環境を構築するための大切な条件の探求（堀　昌浩）……91

招待論文

「母と子の食生活・栄養の現状と問題点を探る」（藤澤　良知）……102

（資　料）

日本保育協会保育科学研究所細則 ……112

日本保育協会保育科学研究所倫理委員会細則 ……114

日本保育協会保育科学研究所運営委員会 ……115